

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

COVID-19 感染症について、感染症内科医長による「新型コロナウイルスの概要と治療方針」、感染管理認定看護師による「COVID-19 感染対策について」の勉強会を実施し、知識を得て看護実践に活かすことができた。COVID-19 患者の急変時のシミュレーションは「岡山医療センター新型コロナウイルス感染症マニュアル Ver.4-3(p95)を参考にシナリオを作成し実践した。始めに医師やシミュレーション担当看護師がデモスト行い、次にスタッフが実践したが、次回への課題が多く残ったため 1 回のシミュレーション毎に振り返りを行い、次にその反省を踏まえてシミュレーションと振り返りを繰り返し実践することで、リーダーの統制や個人の動きはまとまってきた。スタッフ全員が自然にできるようになるまで今後も計画的に実施していく予定である。

2) 病院経営に参画する

4 月 30 日より COVID-19 疑似症受け入れを開始した。前期は一般病棟を 24 床運用していたため看取り期の患者と化学療法を受ける患者を積極的に受け入れ看護実践できたため、前期の病床利用率は 70.0%であった。後期は 12 月 21 日から COVID-19 陽性患者の受け入れが開始となり COVID-19 陽性 15 床・疑似症 8 床で運用した。病床が空いている時は疑似症側スタッフを他病棟へ、陽性側スタッフは救急外来で疑似症対応などを実施し、部署間支援体制をとった。排尿自立指導料については前期・後期とも排尿ケア対象者は 100%の介入ができており加算の算定漏れもなかった。入退院支援加算は前後の達成率は 62%であったが監査のフィードバックを行い、後期は 85%となり目標達成できた。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

年間インシデントは 92 件であった。薬剤関連のインシデントは前期 45 件であったため、後期は指差呼称の定着への取り組みを強化し、医療安全活動日などに委員が中心となり、薬剤投与時に指差呼称が実践されているか確認し、できていない場合はその都度指導した。その結果、後期の薬剤関連の確認不足によるインシデントは 13 件に減少した。転倒転落は前期 4 件であった。定期的に転倒転落カンファレンスを行い、患者の行動パターンについて考え、行動を予測することで安全に行動できる方法を考えることができるようになり、後期は 2 件に減少した。感染対策については陽性患者の受け入れが開始となってからは、タイムリーに勉強会やシミュレーションを実践した。その結果、感染に対する知識が深まり、適切な対応ができるようになった。

4) 専門職として能力開発に努める

新人の育成に関しては受け持ちをつけ、初歩的なプライマリナースとしての役割ができるようになり看護計画の評価や追加修正については指導を受けながら実施できるようになった。看護添書作成や個別性を捉えた看護計画立案・修正・追加までは達成できていないため、今後も継続して指導を行っていく。また、COVID-19 陽性患者を受け入れるにあたり、新人の精神面に対し、フレッシュパートナーや病棟スタッフの密なコミュニケーションで新人の変化にいち早く対応し、精神的な落ち込みがなく勤務できた。COVID-19 対応については慣れで接することがないように定期的に PPE の着脱確認を行い、また COVID-19 の病態を理解し、アセスメントして看護実践できているかの確認を今後も継続していきたい。COVID-19 患者の急変時のシミュレーションを 1~3 年目の看護師対象に計 2 回実施した。

「新人は状況のイメージができていないため報告もISBARできていない。」「指示を復唱していない。」
 などと課題が残ったため今後も実施し、実践に活かしたい。

5) 看護の先輩として学生実習に携わる

COVID-19 疑似症を受け入れる関係で前期実習が成人Ⅲ4 クール目にて中止となった。

6) 活気のある職場・元気の出る職場づくりを推進する

COVID-19 陽性患者の受け入れ時の準備もスタッフ一人ひとりが自分の役割を果たすことができた。

また、スタッフ同士のコミュニケーションも良好で長期休暇も夏と冬に順番に取得することができた。

2. 病床運営状況

表1 令和2年度 病床運営状況

収用可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床利用率 (%)	病床稼働率 (%)
		新入院患者数 (人)	退院患者数 (人)				
30	内科系混合	90.8	44.7	14.1	6.3	47.1	52.0
有料個室		死亡者数(人)					
病床数(床)	稼働率(%)						
30	66.1	23					

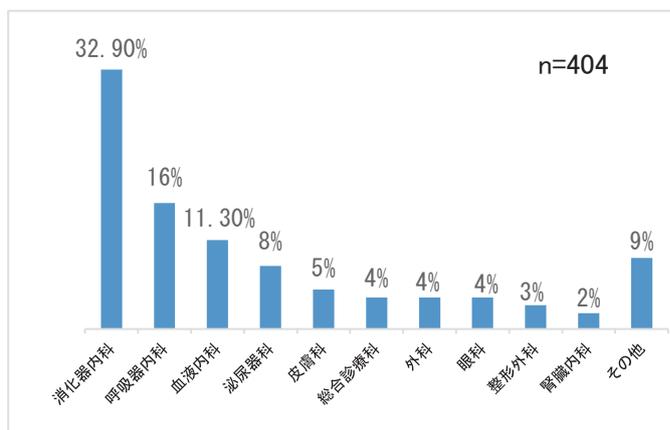


図1 令和2年度 受け入れ診療科内訳(4/1~12/20)

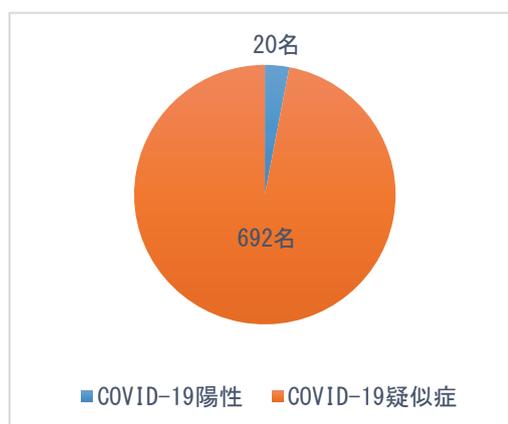


図2 令和2年度 COVID-19 陽性・疑似症内訳

3. 看護体制

表2 令和2年度 看護体制 (令和2年4月1日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
28	PNS®	3:3

4. 看護統計

1) 重症度、医療・看護必要度

表3 令和2年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

基準を満たす 患者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	20.8	22.4	22.2	21.5	22.5	27.9	28.7	22.4	34.4	50.4	24.2	0.0	24.8